専門教育科目 講義科目

授業科目名	税理士のための財務諸表論Ⅳ	科目コード	配当年次	単位
担当教員	林　恵子	EJ29	3・4	2

科目の概要

本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けること、また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることである。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になるが、EJ26～EJ30（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）を学習することで、全範囲の基礎学習が完結する。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨する。
＊EJ28（税理士のための財務諸表論Ⅲ）からの継続授業となる。

科目の到達目標

①財務諸表を作成することができ、財務諸表を分析して、企業の問題点を把握し、その解決策を策定することができる。
②企業会計において、経営者の相談にのり、財務面からの経営支援のアドバイスができる。
＊EJ26～EJ30（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）全体としての到達目標となる。

テキスト	『税理士 財務諸表論の教科書＆問題集（４）』ＴＡＣ税理士講座(編),ＴＡＣ出版

テキストの読み方

①このテキストでは、財務諸表論の会計上の変更と誤謬の訂正、外貨換算会計、製造業の会計、企業結合会計、事業分離会計について詳しく学ぶ。
②その上で、連結財務諸表、四半期財務諸表、キャッシュフロー計算書等の基礎知識を付けていく。
③それにより、財務諸表等の規則の体系とその表示方法全般を理解することができる。

単位修得の方法

①リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。
または、
②スクーリングを受講し、合格すれば２単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。